

一 般 質 問

議席番号	6	議員氏名	本 間 政 道
項目・要旨	1. 防犯カメラの設置普及の補助について		
	近年、身近でも留守の家屋を狙った空き巣、就寝中や目を離している間に侵入し窃盗を行う強盗などいろいろな事件が起きています。特に、個人住宅への強盗などのニュースが世間を騒がせています。現在はどこの場所であろうと安心はできません。 防犯の仕方は様々あるかと思いますが、犯罪の抑止だけでなくその後の対処にも防犯カメラは大変役立つと思います。 防犯カメラ設置に対する補助金の施策は最近多くの自治体が行うようになりました。 埼玉県内でも、さいたま市、行田市、本庄市など多くの自治体が行っております。秩父市では県内で初めて家庭用防犯カメラの設置に補助金制度を導入しました。 第6次寄居町総合振興計画後期基本計画の基本目標4「安全で環境への配慮と利便性を備えたコンパクトなまち」基本方針（3）「安心して暮らせるまちづくり」の施策では、防犯情報の積極的発信や、町民一人ひとりの防犯意識の高まりをあげています。 また、警察などから捜査資料として防犯カメラのデータが重要な役目をしていると聞いています。 安心・安全な町づくりを作るための施策として、今後防犯カメラのニーズは高くなると考えられます。 そこで伺います。 （1）寄居町の防犯カメラに対する認識を伺います。 （2）寄居町内にも庁舎や学校などに防犯カメラが設置されていると思いますが、現在までどのような効果また活用があったのか伺います。 （3）町民や自治会等から防犯カメラ設置の要望が今までにあったのか伺います。 （4）防犯カメラは個人住宅ではまだ設置が少ないのが現状です。安全な町づくりのためには、防犯の強化が求められます。家庭用等防犯カメラの設置について、町民に周知と理解、協力を求める事が大切と考えますが、町の考えを伺います。 （5）防犯カメラを設置する事で町が想定するメリットまたはデメリットについて伺います。 （6）防犯カメラ普及のためには防犯カメラ補助金支給が良いと考え、強く要望したいと思いますが、防犯カメラ補助金支給は可能なのか伺います。		

2. プラチナ婚、ダイヤモンド婚、金婚のお祝い施策について

寄居町総合振興計画後期基本計画の基本目標3「支えあいとふれあいのある健康長寿のまち」基本方針(2)「いきいきと暮らせる環境づくり」基本施策1「高齢者の生きがいつくりの支援」とあります。

健康長寿でいるためには人との関わりが大切です。

長年の結婚生活をお祝いする、プラチナ婚(結婚70年)、ダイヤモンド婚(結婚60年)、金婚(結婚50年)などは、当人はもとより家族や友人にも喜んでいただける良い機会になると思います。また長年取り組まれている、婚活を推進する施策にも良い影響があると考えます。

そこで伺います。

(1) プラチナ婚、ダイヤモンド婚、金婚などのお祝い施策について町の考えを伺います。

(2) プラチナ婚、ダイヤモンド婚、金婚などのお祝い施策を行っている自治体を把握しているのか伺います。

(3) 今までに町民からプラチナ婚、ダイヤモンド婚、金婚などのお祝い施策の要望などがあったのか伺います。

(4) プラチナ婚、ダイヤモンド婚、金婚などのお祝い施策を検討された事があったか伺います。

(5) プラチナ婚、ダイヤモンド婚、金婚などのお祝い施策を行うためには町ではどのような課題があると考えられるか伺います。

(6) 健康長寿や婚活などの観点からもプラチナ婚、ダイヤモンド婚、金婚などのお祝い施策の実現を要望したいと思っておりますが、施策の実現について町のお考えを伺います。

一 般 質 問

議席番号	4	議員氏名	津 久 井 大 雄
項目・要旨	1. ペット受け入れ避難所について		
	今年の6月議会の一般質問に引き続き、一般質問させていただきます。 昨今では、家族の一員としてペットを迎える家庭が増えてきました。我が国のペットの飼育数は約3割、15歳以下の子どもの数より多いと聞いています。 昔と違い、室内で飼育されているペットは約9割になるとも聞きます。今や家族と共に暮らすペットは、単なる動物ではなく「家族の一員」として家庭の中に溶け込んでおり、災害時等避難が必要となったとき、ペットを置いて人だけが避難する状況は考えにくい社会となっています。 災害時の同行避難を推進することは、動物愛護の観点のみならず、放浪動物による人への危害防止や生活環境保全の観点からも必要なことだと思います。災害時にペット対策をどのようにするか、避難所運営にも大きな問題と考えなければいけないと思います。 そこで伺います。 (1) 災害時、ペット同行避難のガイドラインについてどの様に考えていますか。 (2) ペット等を含めた公園等での避難訓練・防災訓練を実施する考えはありますか。 (3) 避難所へのペット「同行避難」、「同伴避難」の町の考えについて		
	2. ライフ跡地について		
	2013年に閉店しましたライフ寄居店ですが、昨年に引き続き、議会から町に提言いたしました。 議員といたしましても、一日でも早くライフ跡地問題を解決してもらいたいと思います。 令和6年第4回定例会で、秩父鉄道株式会社において売却の条件や解体の方向性について協議をしていると伺っています。しかしながら町は議員にその後の話し合いの状況等がどの様になっているのか報告がありません。説明すら無いのが現状だと思います。 そこで伺います。 (1) 閉店後から現在までの10年間の経緯について (2) 今後の町の対応について		

一 般 質 問

議席番号	1 6	議員氏名	吉 田 正 美
項目・要旨	1. 寄居町合併70周年記念事業について		
	寄居町は昭和30年2月11日、旧寄居町、折原村、鉢形村、用土村、男衾村が合併し、今の寄居町が誕生しました。令和7年2月11日で、70周年を迎えます。 そこで伺います。 (1) 記念事業の実施内容について伺います。 (2) 記念式典については「実施をしない」と9月27日の議員全員協議会で報告を受け、「式典をやるべきだ」との意見もあったが、再度検討されたのか伺います。 (3) 実施しないのであればその理由について伺います。		
	2. 令和6年度予算に向けた提言「町道整備の推進」について		
	町道（生活道路）整備の推進について、令和5年度と比較して道路改良事業など、箇所付本数、また予算額についても昨年度とほぼ同じという回答でした。私は6年度予算額は大きく延びると期待しておりましたが大変残念に思っております。 所信表明の中で強調しております、生活道路整備の新手法として協働の道づくり補助事業は、砂利道をコンクリート舗装するもので、あくまでも一時的、緊急的な対応で恒久的道路整備にはならないと考えます。 そこで伺います。 (1) 協働の道づくり補助事業の申請状況について伺います。 (2) 実際に事業を行った地区からの反応について (3) コンクリート舗装した道路にひび割れ、亀裂等が生じたときの対応について伺います。		
	3. 道路整備について		
	(1) 県道赤浜小川線（男衾駅入口交差点から県道熊谷寄居線まで）の拡幅改良整備について ①進捗状況について伺います。 ②完成はいつ頃になるか伺います。 (2) 県道赤浜小川線（牟礼交差点から小川町境まで）の整備について 県は町へ払い下げるのであれば、数年前男衾区長会連盟で片側に歩道整備して頂きたい旨の陳情書が県へ提出されております。この要望を実現して頂かないと、地元としては受け入れることはできないと思います。見解を伺います。 (3) 県道菅谷寄居線（柏田歩道橋から男衾中学校入口付近まで）の歩道拡幅改良整備について ①進捗状況について伺います。 ②完成はいつ頃になるか伺います。		

一 般 質 問

議席番号	8	議員氏名	権 田 孝 史
項目・要旨	1. 町営住宅について		
	寄居町には上の原住宅・平倉住宅・漆原住宅・中道中住宅・中道西住宅（北棟・南棟）の5カ所の町営住宅があります。建築年度は、上の原住宅は昭和43年、44年・平倉住宅が昭和46年、47年、49年と古く、最も古い住宅は55年が経過し、耐用年限も超過しています。 公営住宅法第1条では、住宅に困窮する低額所得者に対して、「低廉な家賃で賃貸し、国民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とする。」と述べています。 上の原住宅や平倉住宅は古いこともあり、上の原住宅では36戸中10戸が入居、平倉住宅では34戸中11戸が入居というのが現状です。 近年予想もつかない自然災害から、入居者の安全性を確保するためにどのような対策を考えているのか伺います。 （1）上の原住宅、平倉住宅の入居者から意見や要望が出ているのか伺います。 （2）入居時の契約や更新手続きには年数などが明記されているのか伺います。 （3）住宅敷地内に、私物の建造物や樹木等の制限が明記されているのか伺います。 （4）寄居町公共施設等総合管理計画アクションプランでは、上の原住宅、平倉住宅については用途廃止予定とされているが、どの様に進められているのか伺います。		
	2. 男衾中学校長寿命化改修工事と一貫教育について		
	校舎の工事防壁も取り外され、綺麗な中学校になりました。また、校舎内も多くの木材が使用され生徒への配慮や環境対策が施されています。 教育環境が整い、今後の生徒たちの学力やスポーツ向上に期待します。 また、広報よりい11月号では、小学校・中学校をつなぐ連絡通路の愛称を児童・生徒から募集し「夢へのスマイルロード」に決まり、10月4日に開通式が行われ、小中一貫教育に向けて順調に進んでいると感じました。そこで伺います。 （1）改修工事は計画通り今年の12月末に終了するのか伺います。 （2）一貫教育はどの様に進められているのか伺います。		

一 般 質 問

議席番号	7	議員氏名	保 泉 周 平
項目・要旨	1. コメの生産と価格高騰について		
	この夏、全国で発生した「令和のコメ騒動」を受け、農家への新たな補償や生産拡大など、コメ政策にかかわる話題が出てきています。農業従事者が減り続けている現状の中、安定供給を確保するためにも、農地と生産者について、もっと真剣に取り組む必要があると考えます。コメの生産については2018年の減反政策廃止後も生産量の目安を示し、主食用米の代わりに飼料用米などを作る農家に補助金を出して転換を促してきていますが、主食用米の作付け面積は減少しています。専業農家の全国的な高齢化、特にコメ農家は高齢化が顕著であると考えられ、このままでは生産は細る一方と思われます。寄居町のコメの生産も同様と考えます。人・物（コメ）・金は社会の原則ですが、コメ騒動においては、物が足りず価格が上昇しています。通常は新米が出れば価格は落ち着きますが、まだ高値が続いているようです。 そこで伺います。 (1) 寄居町のコメ生産者の高齢化状況について伺います。 (2) 農地の集積・集約化について伺います。 (3) 農業経営の法人化について伺います。 (4) 寄居町内での作付け内容の割合を伺います。 (5) 主食用米の消費者購入価格、食料の消費者物価指数を伺います。 (6) 町内の流通価格と高値収束の見込みを伺います。		
	2. 寄居駅南口ライフ跡地について		
	寄居駅南口駅前通りが本格的に活用されていますが、賑わいのまちづくりに人々が集う中、所有者である秩父鉄道株式会社は、いまだ動きが見えておりません。本件については令和6年度予算に向けての提言にて、寄居町南口地区の活性化を図るためにも、秩父鉄道株式会社との積極的な交渉を進め、跡地の話し合いの要望をしましたが、進展が見られません。また、令和7年度の提言にも再度要望しております。 そこで伺います。 (1) 話し合い・交渉は行われているのか伺います。 (2) 町として、町民からの意見はどう受け止めていますか。 (3) 秩父鉄道株式会社は今後についてどのように考えているのか聞いていますか。 (4) 放置状況が長いため、塗装も黒ずみ外観も近くで見ると危険を感じますが、状況確認されていますか。 (5) 話し合いにより、跡地利用をどのように考えていますか。		

3. 紙とデジタル教科書について

教育ICT環境の充実を図り、教員と児童生徒の力を最大限に引き出すことを目指す取り組みとするGIGAスクール構想が始まり、5年が経過しました。その間、コロナ禍での対面指導とオンライン教育の併用で指導が行われてきました。そのような中で、全小中学校に学習端末の配備を加速したと同時に、デジタル教科書が2019年から使用できるようになった背景があります。

紙とデジタルの教科書をめぐってはいろいろと検証されているようですが、学力の伸びが紙と同等以上の効果があるとしていました。しかし、根拠が定かとなっていない。「読む」となるとデジタルより紙の教科書が優位な結果が出たとされています。本を読むには紙の方が読解力にも良く、思考力を育むとされています。

そこで現在の状況を伺います。

- (1) 小中学校でデジタル教科書を使用している教科を伺います。
- (2) デジタル教科書の導入によって授業の質に向上があったのか、また課題はあるのか伺います。
- (3) 教職員の中で、デジタル教科書が不便と感じている意見はありましたか。
- (4) 紙教科書は無償ですが、デジタル教科書は対象外とされております。今後無償化になる予定はありますか。
- (5) 端末の故障時の対応はどのような対応手順ですか。
- (6) 端末は5年リースと伺いましたが、小学生は更新時どのような対応になりますか。また、リース契約終了後の更新については費用面も含めどのように考えているのか。
- (7) 学習用端末を使いたいじめはないですか。
- (8) 「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」について、町の取り組みを伺います。
- (9) 子どもの個人情報を守るため、情報の利用目的を定めていますか。

一 般 質 問

議席番号	15	議員氏名	原 口 孝
項目・要旨	1. ライフ跡地について		
	昨年度に続き、2度目の議会全員一致の提言書を町長に提出しました。様々な話が聞こえてくる中、本当であれば大きな問題と捉えなければならないと考えます。寄居駅南口整備と町内循環経済、活性化に大きな課題を残すこととなります。寄居駅南口の最終開発の重要事項であると言っても過言ではありません。そこで伺います。 (1) 相手(秩父鉄道株式会社)が民間会社とはいえ、町の最善である希望や要望を含め、話し合いがされたのか伺います。 (2) 大きな決断をもって跡地の買収をすべきと思いますが、町の考えを伺います。		
	2. 教育環境について		
	(1) 城南地区小学校(鉢形小学校・折原小学校)の統合について 私はこの統合には折原小学校の複式学級の解消を課題として取り組んできました。統合時において、4年生から6年生は城南中学校の空き教室利用、1年生から3年生の低学年は新校舎建設。そして学童保育の一体型、または分離型を考えていました。一貫校を推進する理由として9年間で1つの組織にまとめ、小学校・中学校の垣根を超えた様々な活動や行事の取り組みを行う。また、9年間で義務教育を修了するにふさわしい学力と社会性の育成、中1ギャップの解消等、統合する手本となりえる事業と考えています。そこで次の質問をさせていただきます。 ①なぜ、小中一貫校が考えられないのか伺います。 ②「校長が1人だと管理が大変」と教育長の体験談から全員協議会での説明もありましたが、だからこそ貴重な体験から改善すべき点を指導すれば問題はないと考えられますが、指導困難なのか伺います。 ③単独の小学校を新築する予算はどのくらいなのか伺います。 (2) 遠距離通学生徒援助費補助について ①中学生の補助人数と補助率、年間予算について伺います。 ②小学生に適応できない理由について伺います。 (3) 運動公園管理について ①利用者の受益者負担は適正に管理されているのか伺います。 ②町民の多くの要望に公園整備がありますが、寄居町運動公園内の整備は満足されているのか伺います。 ③三ヶ山環境整備センター内、3号埋立地跡地利用の公園整備について、地元でアンケートを取り公園整備に意見要望を提出し、県・町・地元4協会が現在検討進行中ですが、すばらしい県管理公園(災害時適応広場)が完成した場合、財政上から考え統廃合推進と管理経費の必要性を考え、今後に向け、どう考えているのか伺います。		

④資金をかければよいものはできます。しかし、町の財政を考えた場合、義務的経費や扶養費等の増加を考えれば、寄居運動公園を企業に売却し企業誘致をすべきと考えますが、町の考えを伺います。

一 般 質 問

議席番号	9	議員氏名	笠 原 則 夫
項目・要旨	1. 新県道余剰地の利活用について		
	今春開通した男衾地区の新県道について、牟礼区では使い勝手が悪く改良の要望書を県に提出しました。同じく下郷地区では、新しく出来た交差点の北側が余剰地となっています。そこでここに防災のための待機所を設けて頂きたく、県に要望書を提出したいと思いますが、町としてもサポートして頂きたく4点伺います。 (1) 私のイメージする待機所は、<u>土壘間</u>くらいの広さで南側が全開のものです。余剰地の近くには民家や樹木が少なく、夏場の児童生徒の通学には日向の道を長く歩くため、水分補給の日陰の休憩所として熱中症予防の役目を果たせると思いますが町の考えを伺います。 (2) 待機所について男衾区長会に申し出たところ、全員一致で設置を訴える協力を頂けるとのことでした。併せて子ども見守り隊の使用や、町にはまだクーリングシェルの設置箇所が少なく、そのような利用ができることが理想と区長会から言われましたが町の考えを伺います。 (3) 近年は風水害が激甚化してきて、特に夏場は突然の降雨や落雷が心配される時期です。緊急避難所としても役に立つと思いますが町の考えを伺います。 (4) 男衾地区の新県道はカーブと上り坂と下り坂が数カ所あり、当初は小さな事故が複数回あったようです。待機所を警察による定期的な監視場所として、使用して頂くことが交通安全に効果的だと思いますが町の考えを伺います。		
	2. 歳入歳出予算に関する説明書及び歳入歳出決算書の記載の工夫について		
	予算審議・決算審議について、遅まきながら私も慣れてきました。その中で、説明書について紛らわしい部分があり、ご一考頂きたく伺います。 (1) 令和5年度予算に関する説明書の教育費の人権教育費、人権教育推進協議会委員報酬21人(202 単位千円)とあるところを、人権教育推進協議会委員報酬21人(議員4人を除く 202 単位千円)と記載することで、決算書で報酬17人となっても質問になることはないと思います。これらは同和対策集会所運営委員報酬20人が、支払いは10人等、いくつか見受けられます。記載の仕方について伺います。 (2) 令和5年の予算に関する説明書に記載のあった「いかだ下り」の予算が、決算書では記載がありませんでした。このように予算成立にありながら使用されなかった事案について、決算書の末尾に明記して頂きたいですが、町の考えを伺います。		

	3. よりいまち秋の縁結び婚活パーティーについて 少子化対策の一丁目一番地は、若い世代の方に家庭を持って頂くことです。それには官民一体となつての創意工夫が必要と感ずます。そこで伺います。 (1) 先日開催された「縁結び婚活パーティー」の結果について伺います。 (2) 寄居町民の応募者数と参加者数を伺います。 (3) 募集要項を見ると、定期開催には同じ顔ぶれのマンネリ化が気になりますが町の見解を伺います。
--	---

一 般 質 問

議席番号	1	議員氏名	里 見 夕 子
項目・要旨	1. 配膳室の環境衛生について		
	現在、寄居町の小中学校の配膳室にエアコンが設置されているのは、男衾中学校・用土小学校の2校のみです。近年異常気象が続き配膳員の方が業務する環境は大変過酷なものとなっています。夏場は30℃を超え40℃近くに達する日も多々あり、配膳員の方の熱中症リスクが高まる一方、冬場は低温のため低体温症や風邪・インフルエンザなど感染症にかかるリスクが高まり、配膳員の方の健康と安全の確保が急務となっています。 そこで伺います。 (1) 各学校の配膳室の温度・湿度管理状況について伺います。 (2) 子ども達の大好きな給食の安全確保のために、配膳員の方に環境衛生の周知徹底をどのようにされているのか伺います。 (3) 各学校の配膳室の環境を改善し、配膳員の方々の健康と安全を守るために全校の配膳室にエアコン設置をすべきと考えますが町の見解を伺います。		
	2. 飼い主のいない猫の対策について		
	近年、飼い主のいない猫いわゆる「野良猫」の増加が社会問題となっており、寄居町においても敷地内で糞尿をされたり、窓を少し開けていたら室内に侵入されたり、中には死骸となった猫の後片付けなど野良猫が繁殖している地域住民の方々が大変苦勞をされています。猫は非常に高い繁殖力を持つ動物で、1頭の猫が1年間に数回妊娠を繰り返し20頭以上を出産することが可能です。そのため、短期間で猫の数が急速に増加し、この特性が野良猫の大発生を助長しています。 野良猫問題は、動物愛護だけではなく環境問題とも深く関わっています。猫が増えることでゴミ問題や衛生問題さらには生態系への影響も無視できません。 そこで伺います。 (1) 町内の飼い主のいない猫の現状について相談・苦情など年間どの位あるのか伺います。 (2) 町内で自主的にも含めて保護活動されている方の現状把握をしているのか伺います。 (3) 飼い主のいない猫を増加させないために町としてどのような対策をしているのか伺います。 (4) 多頭飼育に対する現状、対応策を伺います。 (5) 避妊去勢手術等に対する補助制度の内容について伺います。		

一 般 質 問

議席番号	2	議員氏名	浅 見 玲 子
項目・要旨	1. I C T教育について		
	寄居町では、教育行政重点施策として、I C Tを活用したG I G Aスクールの推進に力をいれています。すでに子ども一人ひとりにタブレットが配付され、授業での活用が進んでいるようです。 主な利点として、電子黒板やタブレットで、動画やゲーム感覚で学習できるツールなどを使う授業をすると、児童・生徒の興味や関心を引くことができ、インターネットを使って、自ら必要な情報を集め、集めた情報を分析・評価し、まとめることで、情報活用能力が育ちます。また、教員はデジタル教材やオンライン資料を活用することで、教材作成や印刷などの授業準備時間を削減できるなどがあげられています。 日本では、欧米諸国から遅れての導入となっていますが、文部科学省は、「端末の利活用状況調査」を実施し、「授業の活用率」、「家庭への持ち帰り率」、「教師と児童のやりとり率」、「児童同士のやりとり率」などを調査し、都道府県別に比較して、その「率」をあげるように通知したとのことでした。 しかし、最近になって、先に導入した欧米の国々ではモバイルデバイスの「学校での使用禁止」が広がっているというニュースが入ってきています。 そこで伺います。 (1) 先に導入をした欧米諸国での動向について、どのように思われますか。 (2) O Sシステムの開発者であるスティーブ・ジョブズやビル・ゲイツが自分の子どものデジタル機器の使用を厳しく制限したことは有名な話ですが、そのことについてはどう思いますか。 (3) 寄居町では、家庭でのタブレットの使用も考え、各家庭にW i - F i環境を整備するように通知していますが、これは文部科学省の通知によるものか伺います。 (4) 今後、低学年から宿題も含めて家庭での使用を想定しているのか伺います。 (5) すでに連絡帳代わりにタブレットを毎日持ち帰る学校があるようですが、保護者からの意見を聞くことはなかったのか伺います。		
	2. 選挙投票所における介助について		
	選挙の投票所に関して、期日前投票をされた方がいらっしゃいましたが、若干歩行が困難になり、配偶者に付き添ってもらうことで、慣れない場所でもなんとか歩くことができる状態で、車いすを使うまでではありませんでした。 今回、入場券を受付で渡し、投票用紙を受け取って記載台に移動したり、次の場所に移動したりする際に、配偶者の介助を「ダメ」と言われたとのこと、非常に憤慨しておられました。そこで伺います。 (1) このようなケースの介助についての規定やマニュアルがあるのですか。 (2) 他にもこのような苦情はなかったのか伺います。		
	3. 学校に生理用品の無償配備について		

社会がコロナ禍であったとき、「生理の貧困」が問題になり、東京や神奈川ではすべての高校で生理用品がトイレに配備されるようになりました。それまで保健室にのみ置いてあり、養護教諭に申し出ることで支給を受けていたものが、配備することで需要が160倍になったという報告もあります。埼玉県では上尾市では小学校4年生以上を対象に、八潮市では小学校3年生からを対象にしてトイレに無償配備をしています。

令和3年に、寄居町では、利用が少ないということで、保健室1か所での管理になってしまったようですが、現在では生理についての認識も変わっています。

学校で急に生理が始まってしまい、生理用品を持っていなくて困ったり、家から持ってきた分では足りなくて困ったりしたことがあると思います。児童・生徒が安心して学校生活を送れるようにするためのひとつとして、すべての小中学校のトイレに生理用品の無償配備をすべきと思いますが町の考えを伺います。

一 般 質 問

議席番号	5	議員氏名	久 保 鷹 矢
項目・要旨	1. G I G Aスクール構想における寄居町の現状について		
	G I G Aスクール構想について長期的なビジョンには評価しつつも、課題が多く残る構想だと考えています。素晴らしい教育環境を今後も提供していただくために、現状について伺います。 (1) 文部科学省等のレポートで取り上げられている課題について伺います。 ①学校間での活用格差について ②端末更新・学校の I C Tネットワーク環境について (2) 導入端末のスペックによって生じている課題について伺います。 (3) 当町で生じている課題についてほかにあれば伺います。 (4) 電子黒板の活用状況、活用内容について伺います。 (5) タブレット端末について、1日のうちどのくらいの頻度で活用されているのか伺います。 (6) 授業以外でのタブレット端末利用状況について把握していれば（家庭内、休み時間等）伺います。 (7) タブレット端末の経年劣化によって生じる問題について伺います。（バッテリー寿命等）。 (8) 転入者が、違う O S の端末をこれまで使用してきた際に新しく使用方法を覚えなければいけない事案などあったのか伺います。 (9) タブレット端末のセキュリティやガイドラインなどの管理状況について伺います。		
	2. 登下校のランドセル重量問題と対策について		
	過去の一般質問にあった「置き勉問題」ですが、時間が経ち G I G Aスクール構想によってタブレットを持参する必要が増えたことから、持ち運ぶランドセルの重さは以前より増しているのではないかという声もあります。現在の寄居町の運用と今後について伺います。 (1) 各学校の現在の「置き勉」実施状況について伺います。 (2) 各学校のタブレットの持ち帰り等の運用について伺います。 (3) ランドセルの重量により将来的な身体の発育に影響が出る可能性について、どう対策してきたのか伺います。 (4) 重量の問題について、寄居町でも生徒や保護者から要望の声は出てきているか伺います。 (5) 水筒の持ち運びを緩和させることを踏まえ、学校にウォーターサーバー等導入について考えを伺います。		

3. 学生への資格試験受験料の助成について

佐野市で行われている学生への資格試験の受験料に助成する事業を参考とし、当町でも検定無償化事業を拡充させ、学生一人ひとりのキャリア設計に対応した事業にする必要があると考えます。資格試験受験料への助成について、予算をふまえた実現可能性について伺います（全額助成、一部助成など）。

一 般 質 問

議席番号	10	議員氏名	大 澤 博
項目・要旨	1. 移動販売車について		
	移動販売車「うえたん号」は、運転免許証を返納した、買い物困難者への利便性の向上と高齢者の交流と健康増進の機会を増やし、安心して暮らせる町づくりを推進するために、10月7日から移動販売を開始しています。運行開始から約1ヶ月が過ぎ、運営状況と利用者からの声について伺います。 (1) 月曜日から金曜日の5日間以外に移動販売の要望が出ているか伺います。 (2) 時間によっては、販売地で品切れになり、買いたいものが無いとの声を聞いています。途中で売り切れ品の補充ができないか伺います。 (3) 販売場所への到着は時間指定となっていますが、交通状況により遅れが起きます。販売地到着時にアナウンスを行っているのか伺います。 (4) 運営に町民の声を聞き、運営の改善が必要と考えます。どのような方法を考えているのか伺います。		
	2. 不登校について		
	令和5年度の文部科学省調査結果によると、小・中学校における不登校児童生徒数は34.6万人（前年度29.9万人）であり、前年度から4.7万人（15.7%）増加し、過去最多となりました。在籍児童生徒に占める不登校児童生徒の割合は3.7%（前年度3.2%）です。不登校児童生徒の把握した事実をみると、学校生活に対してやる気が出ない等の相談があったのが11.1万人（32.2%）、不安・抑うつ等の相談があったが8.0万人（23.1%）、生活リズムの不調に関する相談があったが7.9万人（23.0%）であり、「学校生活に対してやる気が出ない」と「身体の不調」が大半を占めています。将来を担う子どもの成長が心配されます。そこで伺います。 (1) 町内の児童・生徒において不登校者と長期欠席者はどのくらいいるのか伺います。 (2) 不登校と長期欠席者の日常の生活実態を把握しているのか伺います。 (3) 学校内外の機関等で専門的な相談・指導等を受けた不登校児童生徒数はどのようになっていますか。 (4) 学校内及び学校外で相談・指導を受け、登校に復帰ができた最も多い事案は何か伺います。		
	3. 男女共同参画による防災対応について		
	「災害対応力を強化する女性の視点」として内閣府男女共同参画局が、災害は、それを受け止める側の社会の在り方により、その被害の大きさが決まります。災害時には平常時における社会の課題が一層顕著になって現れるため、平常時からの男女共同参画社会の実現が、防災・復興を円滑に進めていくための基盤となるなど示してい		

ます。そこで町の男女共同参画による防災対応について伺います。

(1) 女性の意見が反映された、避難所運営マニュアルはあるか伺います。

(2) 女性の視点から避難所を考え、避難所開設時から必要なスペース「更衣室・授乳室・物干し場」を設置することが配慮されているのか伺います。

(3) 避難所の運営には女性と男性の双方のニーズにきめ細かく丁寧に対応できるよう、管理責任者や職員、運営組織に、女性が参画してリーダーシップを発揮できるようにする必要があるといわれています。町の考えを伺います。

4. 産業文化祭について

産業文化祭の展示において、自衛隊車両の展示と記念撮影がありました。どのような経緯で行ったのか伺います。

一 般 質 問

議席番号	3	議員氏名	吉 田 林 藏
項目・要旨	1. 通学定期券代補助金について		
	令和6年度、寄居小学校へ電車通学している児童数は金尾地区11人（8世帯）、末野地区5人（5世帯）です。寄居小学校までは約4kmあります。金尾地区の児童は以前から全員が電車通学しており、末野地区は、3区、4区の児童が電車通学しています。乗車は波久礼駅から寄居駅までの1区間ですが、通学定期券代は6カ月間で8,320円かかります。定期券代は小学校6年間で約10万円にもなります。兄弟姉妹がいる場合は、この2倍3倍かかります。義務教育である小学校へ通学させるに至って保護者にとっては、経済的負担が生じています。少子化を背景に人口は減る一方です。移住・定住を図るためには、住みたくなる町づくりが必要となります。 そして寄居中学校への通学には、遠距離通学費補助金交付が行なわれ定期券購入金額の半額が支給されています。経済的軽減措置として、小学校通学者の通学定期券代補助金について伺います。 （1）住居から学校までの通学距離で、中学校通学者に対しては、定期券半額補助を行い、小学校通学者には距離が短いから補助金は出さないとの理由が理不尽に思えますがいかがでしょうか伺います。 （2）電車通学児童数が少ない中、町として補助金交付に支障があると思うか伺います。 （3）保護者の経済負担をどう考えるか伺います。 （4）若い人達が自然豊かな田舎に住みたいと思っても、子どもを電車通学させることによって経済的負担がかかるとなると、住みにくい町となり過疎化が進みます。町としての考えを伺います。 （5）最後に町として、今までの経緯から定期券購入者に対して補助金交付をしてもらえるのかどうか伺います。		
	2. 無縁墓について		
	町内には、実際に墓の守り手がない「無縁墓」が増えています。地域には草木にすっぽり覆われた墓石のほか、割れて散乱している墓石も見当ります。子ども達が他地域に引っ越し、管理者がいなくなり、親族の意向確認や費用負担がネックとなり撤去は容易に進まない場合や、子孫が途絶える等の場合に無縁墓となります。空き家と同様に死活問題になっています。無縁墓が増えることに町は重大な課題として取り組む必要があると思いますが、その対策方法について伺います。 （1）無縁墓の土地を利用しようとする者等が、官報や立札により死亡者の縁故者または無縁墓等の権利を有する者からの申し出を促しても、1年以上反応がなかったことによる「墓地、埋葬等に関する法律施行規則」に基づく改葬が行なわれたことがあるか伺います。		

- (2) 町内で、墓石を建てずに樹木や草花を墓標にする樹木葬は、町では実際に行われているか、また遺骨を砕いて海や山にまく散骨も増えているか伺います。
- (3) 遠方に住む親族の近くに墓地を作ったり、永代供養のために墓地の改葬を行なおうとする時に現在の墓石の撤去等が必要となりますが、その費用が大きな負担となり、進まなくなることが考えられます。このような状況に対して、町として補助金の考えはないのか伺います。

3. キャリア教育推進について

町内の企業、事業所等と連携し、児童・生徒が職業体験学習を通して、地域の多くの人々と出会い・触れ合い・体験・交流する中で、子どもたち一人ひとりの夢を育むことが目的として実施している自治体があります。そして、社会に出て将来は町の担い手として頑張る気持ちを持ってほしいという、キャリア教育推進が全国に広がっています。町としては、すでに体験学習を進めているか伺います。

- (1) 人口減少の歯止となる事業だと思いますが、町の考えを伺います。
- (2) 持続可能な地域社会の創り手を育成出来るチャンスと考えますが、町の考えを伺います。
- (3) 町にある事業所等を知ってもらうことで、具体的に学びたい気持ちと郷土愛は育まれると思います。当町でも進めていただきたいと思います。町の考えを伺います。

一 般 質 問

議席番号	14	議員氏名	稲山良文
項目・要旨	1. 103万円の壁（基礎控除48万円・給与所得控除55万円）の見直しについて		
	政府、与党は国民民主党の主張に沿って「年収103万円の壁」を見直す方向で調整に入ったとの報道がありました。年収103万円の壁が、パートタイム・アルバイト労働者の労働意欲を奪う心理的障壁になっているとみて、見直しをすることは避けて通れない現実的事実であると考えます。この壁を打ち破ることにより、手取り額増による消費喚起が経済の活性化につながるほか労働時間が増えれば人材不足の解消にもつながると考えられますがそこで伺います。 （１）「103万円の壁」の引き上げについて、一般論としての所見を伺います。 （２）現在の非課税額枠が130万円・150万円・178万円に引き上げられたとき当町の税込減額の概算について伺います。 （３）「106万円の壁（厚生年金に加入する要件、賃金、企業規模）」の撤廃は町民にどのような影響を及ぼすのか伺います。		
	2. 金尾山周辺の環境整備について		
	令和7年5月25日「全国植樹祭」が秩父ミュージックパーク（主会場）で開催されます。 それに伴い植樹祭の宣伝、気運の盛り上げのため埼玉県各地で「どこでも植樹祭」が開催されています。当町でも、「どこでも植樹祭」が令和7年3月上旬に金尾山植樹祭会場で開催が予定されています。そこで伺います。 （１）駐車場の生垣剪定について伺います。 （２）会場入り口の階段の改修について伺います。 （３）御製碑裏の排水溝の泥上げ回収について伺います。 （４）つつじ園入山道の一部改修について伺います。 （５）山頂付近のテーブル、ベンチの改修について伺います。 （６）寄居みどりの少年団の参加要請について伺います。 （７）ヤマツツジの植樹場所の下草刈り及び、植樹穴について伺います。		

一 般 質 問

議席番号	1 2	議員氏名	鈴木 詠 子
項目・要旨	1. 小中学校における健康診断について		
	学校においては、児童生徒の健康状態を把握するため、毎年、学校保健安全法第13条に基づき「健康診断」を実施しておりますが、近年、健康診断時の児童生徒等のプライバシーの保護等への懸念が指摘される一方、着衣では正確な検査・診察が困難になる懸念も示されていることから、全国の学校で一定の対応が可能となるよう、様々な状況に配慮した健康診断実施のための環境整備について、文部科学省は今年の1月、健康診断について正確な、診察に支障のない範囲で、原則上半身裸ではなく体操服などで体を覆うなど、子どもたちのプライバシーや心情に配慮した環境整備を行うよう通知を行いました。 そこで当町の対応について伺います。 (1) 個人のプライバシーに配慮した健康診断の状況について (2) 不登校の児童生徒の健康診断について (3) 障害のある児童生徒の健康診断について		
	2. 投票率向上のための取り組みについて		
	2016年の公職選挙法の一部改正により、投票所に同伴できる子どもの年齢が、幼児から18歳未満に拡大されました。総務省の調査によると、子どもの頃に親と一緒に投票に行った経験のある方は、ない方と比べて投票率が20%以上高いことがわかっており、親子連れでの投票は子どもの将来の投票に繋がっていると思われます。また若者に実際に選挙に関わることで政治への関心を高める取り組みや、障害のある人が選挙に参加しやすい環境整備等も各地で行われています。 そこで町の考えを伺います。 (1) 当町の投票率の推移と課題について (2) 親子連れで投票に参加した子どもへの「記念証」、「記念品」の配布実施について (3) 投票立会人として選挙事務に従事する学生を募集することについて (4) 投票時に支援してほしい内容を書き込む「投票支援カード」や指差しで意思を伝える「コミュニケーションボード」の導入について		
	3. 長期休業中の放課後児童クラブの昼食提供について		
	放課後児童クラブの昼食について、学校があるときは給食が提供されますが、春、夏、冬休みに放課後児童クラブを利用する場合は、各家庭でお弁当を用意する必要があります。毎朝のお弁当の準備は、保護者にとって負担となっているという声もあります。令和5年度、こども家庭庁の放課後児童クラブの長期休業期間等における食事提供事例集によると、食事提供事例として、学校給食センターを活用した取り組み、弁		

当事業者と連携した取り組み、認定こども園の調理室を活用した取り組み、法人で一括して調理する取り組み、子ども食堂と連携した取り組みなどが挙げられています。こども家庭庁からは、長期休業中の昼食の提供は、保護者のニーズも高いとして、地域の実情に応じて提供を検討してほしいとの呼びかけがある中、当町の現状について伺います。

(1) 放課後児童クラブにおける長期休業中の昼食提供の現状について

(2) 令和5年6月28日付で、こども家庭庁より各市区町宛てに出された「放課後児童クラブにおける食事提供について」の対応について

(3) 助成制度の実施について

一 般 質 問

議席番号	13	議員氏名	岡 本 安 明
項目・要旨	1. 洗浄機能付トイレ設置の推進について		
	現在では、洗浄機能付トイレが普及し、家庭や社会においても主流となっています。役場庁舎でも平成27年度から令和4年度までに1階から7階までの全トイレ30個所が洗浄機能付トイレに改修されています。それに比べ、町の公共施設への設置が遅れていると思います。 事前に町に確認したところでは、洗浄機能付トイレのある施設は58施設のうち19施設。設置率は32.8%でした。また、設置されている施設でも全体の一部のみという場合があるため、設置率が低くなっています。そこで伺います。 町の公共施設のトイレを今後どのような計画で、洋式化と洗浄機能付トイレの比率を上げていくか具体的な考えを伺います。		
	2. 風布・小林みかん園の現状について		
	にほんの里100選・日本名水百選「風布川・日本水」をのぞむ、風布・小林みかん園は、天正年間に鉢形城主北条氏邦が小田原から移植したのが始まりと伝えられています。その歴史は400年以上を誇ります。 終戦後は養蚕等が中心でしたが養蚕が衰退し、昭和42年頃から現在の食べ放題お土産付きのみかん狩り方式に移行し、すでに半世紀以上を経過しております。 みかん農家の皆さんの努力は勿論ですが、町観光協会、農業協同組合等の協力を得て寄居町の観光の目玉として県内はもとより、県外からもたくさんのお客様が訪れています。 しかしながら、少子高齢化の影響を受け、数年後にはみかん園の経営が出来なくなってしまう危険な状況にあります。 風布みかん生産組合組合長が調査したところ、現在風布・小林みかん園は風布13園、小林8園で合計で21園あります。経営者の平均年齢は75歳。10年後のみかん園の経営について、「現状維持出来そう」と答えた園は5園のみで、約24%、それ以外の16園は「現状維持出来そうもない」と答えており、率にすると約76%です。 現状維持出来ないと答えた理由は高齢者で後継者もないというのがほとんどでした。 400年以上の歴史のある寄居町の観光の目玉であるみかんをこの先10年や15年で絶やしてはなりません。早急に対策を講じなければ間に合いません。 そこで伺います。 (1) 町で対策や支援ができないのか伺います。 (2) 町で関係機関に働きかけるなどの対策がとれないのか伺います。		

3. S L列車の八高線運行について

埼玉県議会八高線・川越線沿線活性化議員連盟は、本年3月5日JR東日本高崎支社へ要望活動を行いました。要望書では八高線におけるS L列車運行の実現を求めました。これは県議会の取り組みですが、寄居町でも最高に魅力のある事業です。町としても最大限の協力をすべきであると考えます。

寄居町は、用土・折原地区を初めとして、秩父線に勝るとも劣らない風光明媚な絶景はS Lファン・S Lカメラマンにはたまらないスポットだと思います。多くのファンが訪れると思います。

また全国の駅でも秩父線、八高線と違った路線でS L列車が交わる駅は寄居駅において他にないと思います。寄居駅で2本のS L列車が競合したら大きな話題になるでしょう。この事業は、寄居町にとって極めて重要であり、ありがたい事業であると思います。またこの事業を町民に知ってもらい、多くの関係機関とも連携し、町を挙げての大運動にし、是非とも実現させる必要があると思います。寄居町が全国的に有名になれるかどうかの瀬戸際です。そこで伺います。

町はこのことについて、どのような認識を持ち、今後どのような対応をしていく考えか伺います。